

9号排泥工構造図(2/2)

平面図

S=1:50

管材一覧表

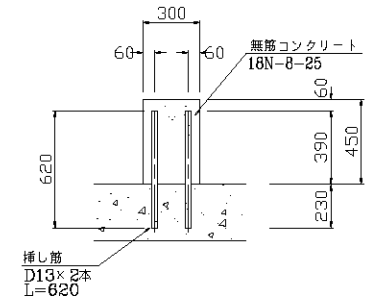
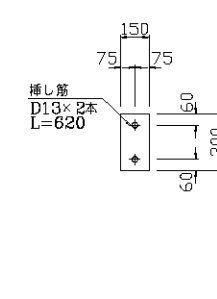
管種	名称	備考
①	SP 空気弁用フランジ蓋φ600×φ75	F12
②	2F人孔付き排泥T字管φ1350×600×200	〃
③	水道用ソフトシール仕切弁φ200	2種
④	フランジアダプタ+スティフナ付き短管φ200	F12

仕切弁受台詳細図

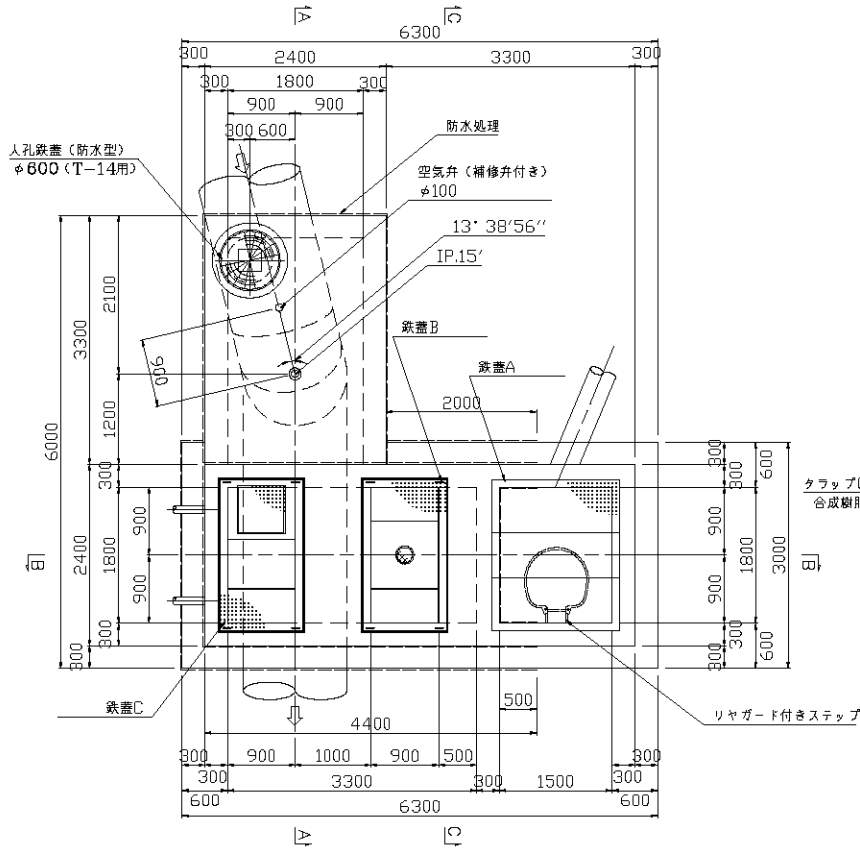
S=1:20

平面図

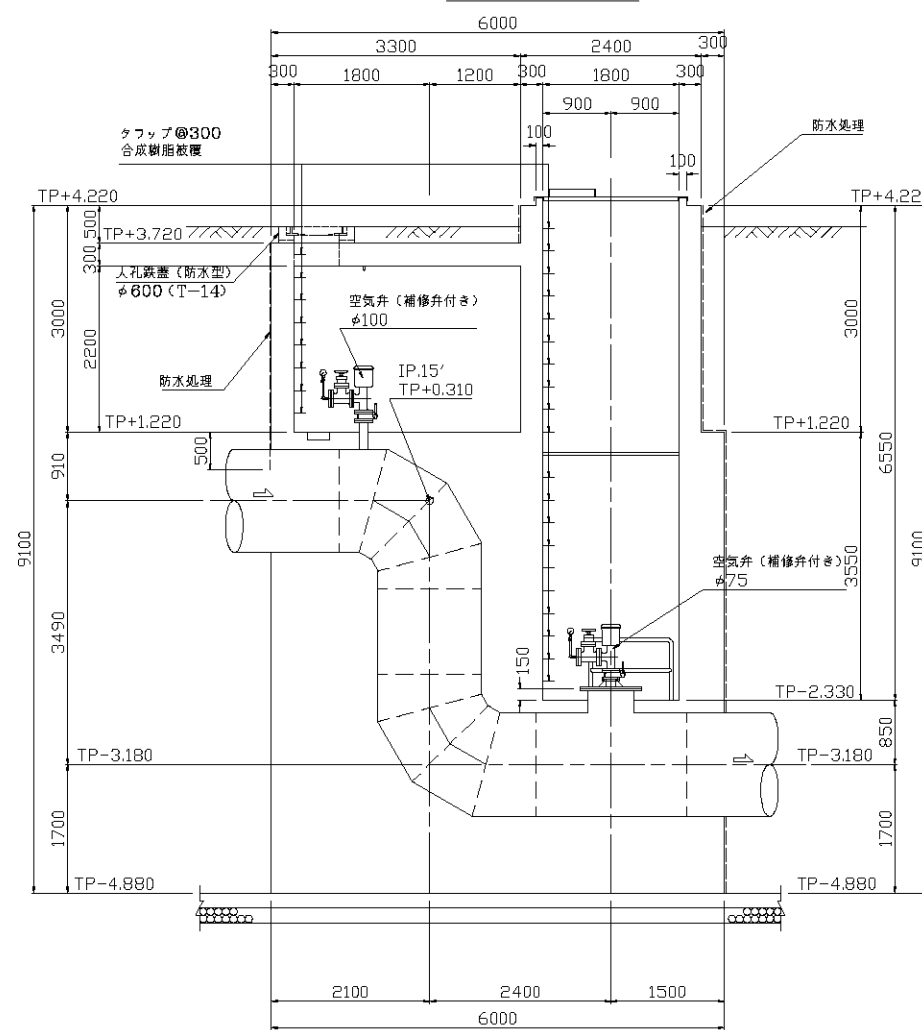
断面図



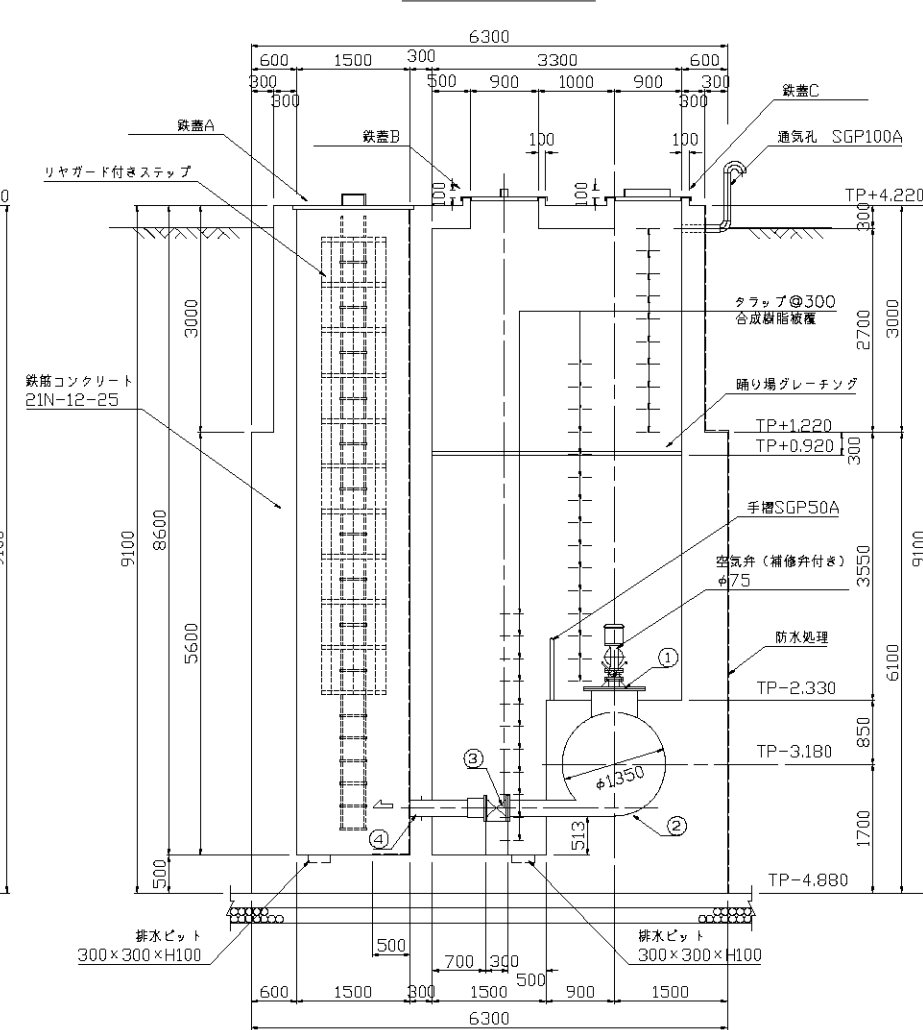
頂版平面図



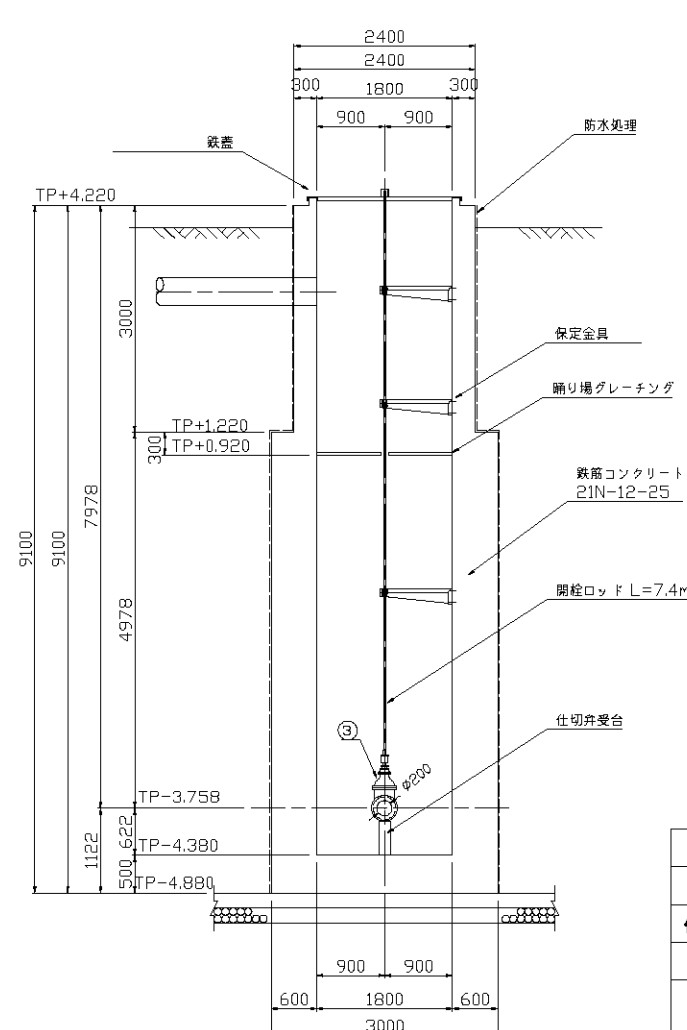
A-A 断面図



B-B 断面図



C-C 断面図



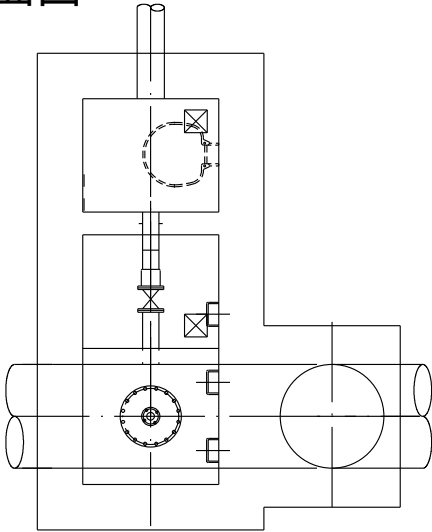
施設名	東部幹線用水路 (0312100-1100-03)
図面名	9号排泥工構造図 (2/2)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-54/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

排泥工番号 11号排泥工		路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 29 ' 39.73 "		
		関連事業名			経度	140 ° 21 ' 52.92 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,760 (1,070) 960 (530) 2,720 (1,600)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.96m³/S	施設容量 1.96m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

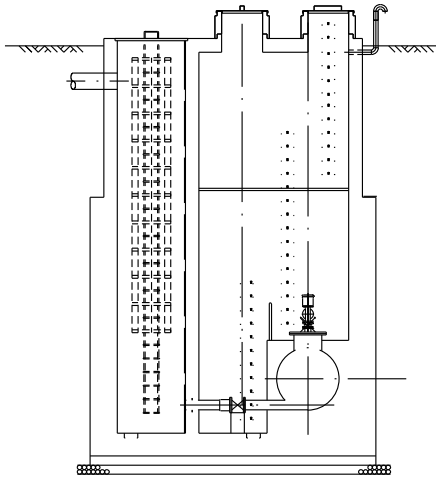
概要 受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川小中川右岸側堤防に隣接し同河川の長国堰水門施設が目印となる。

平面図



縦断面図



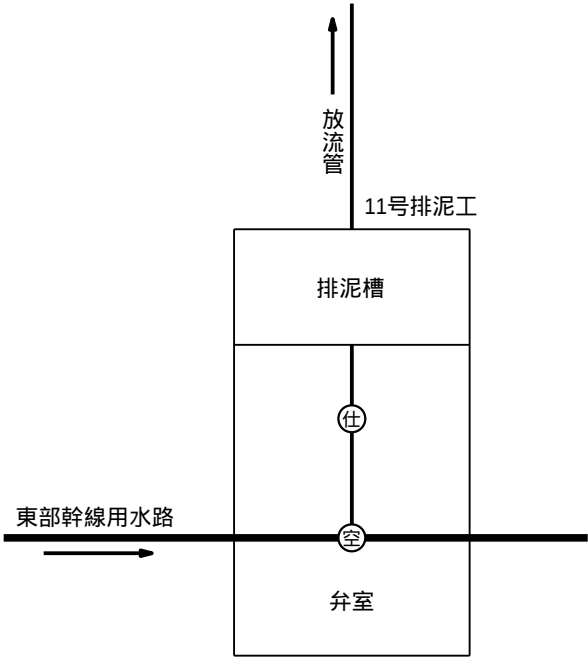
（弁室）
11号排泥工の仕切弁はこの弁室内に設置されている。
操作は鉄蓋上部の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 11号排泥工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 29 ' 39.73 "
		関連事業名		経度	140 ° 21 ' 52.92 "

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】
11号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。